

看護福祉学部 看護学科

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
1. 全人的教養を身につけ、生命の尊厳、人権擁護の立場から高い倫理観を備え人々の健康生活を支援できる力を有する	1. 全人的教養を身につけるため「一般教育科目」を初年次に配置する 2. 看護と社会福祉それぞれの専門性と保健・医療・福祉の課題を理解するため、社会福祉学科との「共通関連科目」を1・2年次に配置する	一般教育科目 共通関連科目：保健と福祉の理解6科目 専門科目：看護学概論など各領域の概論、看護理論、看護倫理学他 (詳細はシラバスに記載)	1. 専門的知識と技術を学ぶための基礎学力を身につけている 3. 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個別性・多様性を尊重することができる
2. 人々を全人的に理解するための感性と基本的な知識、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を持ち、個人・家族・地域社会との豊かな関わりを持つことができる	1. 全人的教養を身につけるため「一般教育科目」を初年次に配置する 4. 専門科目には「看護の基礎」を基盤に、看護の対象の健康レベルや療養の場に対応した「看護の対象・場の理解と実践方法」と「看護の実践」を配置する	一般教育科目 専門科目：看護の基礎、看護学概論など各領域の概論、母性看護学など各領域の各論、基礎看護実習Ⅰ他 (詳細はシラバスに記載)	2. 社会の動向や人間に関心をもち、人々の健康・医療・福祉の発展に貢献したいという目的意識をもっている
3. 科学に裏付けられた専門的知識と技術を身につけ、それらを統合して人々の個別性・多様性に応じた看護を主体的に創造できる	3. 専門基礎科目は、看護に必要な専門的知識を身につけるため、看護の対象である人々の「健康・疾病・障害の理解」と、人々が生活する「社会の理解」の科目で編成する 4. 専門科目には「看護の基礎」を基盤に、看護の対象の健康レベルや療養の場に対応した「看護の対象・場の理解と実践方法」と「看護の実践」を配置する	専門基礎科目：健康・疾病・障害の理解13科目 専門科目：基礎看護技術、看護過程展開論、公衆衛生看護技術Ⅰ他 (詳細はシラバスに記載)	1. 専門的知識と技術を学ぶための基礎学力を身につけている 3. 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個別性・多様性を尊重することができる
4. 地域社会との連携を深め、個人および地域社会の多様なヘルスニーズに応じた看護を実践できる	4. 専門科目には「看護の基礎」を基盤に、看護の対象の健康レベルや療養の場に対応した「看護の対象・場の理解と実践方法」と「看護の実践」を配置する 6. 選択によって所定の科目を受講した者には保健師の国家試験受験資格、養護教諭一種免許の資格を得ることができるように科目を配置する	専門基礎科目：社会の理解3科目 専門科目：健康生活支援演習、母性看護学演習など各領域の演習 (詳細はシラバスに記載)	3. 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個別性・多様性を尊重することができる 4. 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる

<p>5. 時代の変化と国際的な視点を踏まえた新たな保健・医療・福祉の課題を把握し、多職種との連携・協働を図りながら課題に取り組む能力およびリーダーシップを発揮する能力を有する</p>	<p>4. 専門科目には「看護の基礎」を基盤に、看護の対象の健康レベルや療養の場に対応した「看護の対象・場の理解と実践方法」と「看護の実践」を配置する</p> <p>5. 専門科目の「看護の発展」ではリーダーシップやマネジメント能力、研究の基礎能力、将来にわたり社会のヘルスニーズに対応した看護を発展させる能力を養う科目を段階的に学べるよう編成する</p>	<p>専門科目：看護の実践 11 科目他 (詳細はシラバスに記載)</p>	<p>2. 社会の動向や人間に関心を持ち、人々の健康・医療・福祉の発展に貢献したいという目的意識をもっている</p> <p>4. 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる</p>
<p>6. 自ら看護学を探究する態度を身につけ、将来にわたり専門職として看護学を発展させていくための研究が行える基礎能力を有する</p>	<p>5. 専門科目の「看護の発展」ではリーダーシップやマネジメント能力、研究の基礎能力、将来にわたり社会のヘルスニーズに対応した看護を発展させる能力を養う科目を段階的に学べるよう編成する</p>	<p>専門科目：看護の発展 14 科目 (詳細はシラバスに記載)</p>	<p>2. 社会の動向や人間に関心を持ち、人々の健康・医療・福祉の発展に貢献したいという目的意識をもっている</p> <p>4. 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる</p>

看護福祉学部 社会福祉学科

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
1. 人間の尊厳重視、人権擁護及び社会正義の立場から人々の生活を支援するための、全人的教養と普遍的な社会福祉の価値観、思想及び倫理観を有する	1. 全人的教養を身につけるため「一般教育科目」を初年次に配置する 2. 社会福祉と看護それぞれの専門性と福祉・保健・医療の課題を理解するため、看護学科との「共通関連科目」を1・2年次に配置す。 3. 社会福祉の基盤知識と、ソーシャルワークの価値や倫理の基礎を身につけるため、「専門科目」の中でも基礎的科目を初年次に配置する。そして、地域社会で直面する多様な生活のしづらさと、それに直面する人々の回復や成長及び自立を目指す支援のあり方等を理解するため、「専門科目」の中でも社会福祉諸領域に関する科目を1・2年次に配置する	一般教育科目： 基礎科目 自由科目 A 群/B 群 /C 群 共通関連科目： 保健と福祉の理解 6 科目 社会福祉学専門科目： 社会福祉学概論 I / II ソーシャルワーク論 I / II / III 社会理論と社会システム (詳細はシラバスに記載)	1. 社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎学力を身につけている 2. 社会の動向や人間に関心をもち、多様な人々が豊かに生活できる社会の実現に貢献したいという目的意識をもっている
2. 人々に共感するための感性と、人々の生活やその困難を環境との関連から理解するための思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力を有する	1. 全人的教養を身につけるため「一般教育科目」を初年次に配置する 3. 社会福祉の基盤知識と、ソーシャルワークの価値や倫理の基礎を身につけるため、「専門科目」の中でも基礎的科目を初年次に配置する。そして、地域社会で直面する多様な生活のしづらさと、それに直面する人々の回復や成長及び自立を目指す支援のあり方等を理解するため、「専門科目」の中でも社会福祉諸領域に関する科目を1・2年次に配置する 4. 地域共生社会の実現に必要な個人、家族から地域社会までを通底した国内外のソーシャルワークに関する理論と実践を統合的に理解するため、「専門科目」の中でも実践展開力を養成する科目を3・4年次に配置する 6. 所定の科目を受講した者には社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験資格、高等学校教諭一種免許状(福祉)の資格を得ることができるように科目を配置する	一般教育科目： 基礎科目 自由科目 A 群/B 群 /C 群 社会福祉学専門科目： 17 科目 (ソーシャルワーク論 I / II / III / IV, ソーシャルワーク演習 I / II / III / IV, ソーシャルワーク実習, ソーシャルワーク実習指導 I / II, 精神保健ソーシャルワーク論, 精神保健ソーシャルワーク演習 I / II, 精神保健ソーシャルワーク実習指導 I / II) (詳細はシラバスに記載)	3. 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個性・多様性を尊重することができる 4. 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる
3. 科学に裏付けられた専門的な知識と方法を身につけ、それらを統合して人々の個別のニーズに応じた社会福祉に関する支援方法、サービスの開	3. 社会福祉の基盤知識と、ソーシャルワークの価値や倫理の基礎を身につけるため、「専門科目」の中でも基礎的科目を初年次に配置する。そして、地域社会で直面する多様な生活のしづらさと、それに直面する人々の回復や成長及び自立を目指す支援の	社会福祉学専門科目： 56 科目 (アンケート調査の設計と分析、社会福祉学概論、社会保障論、ほか)	1. 社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎学力を身につけている 3. 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個別

<p>発、政策提言を主体的に考案できる能力を有する</p>	<p>あり方等を理解するため、「専門科目」の中でも社会福祉諸領域に関する科目を1・2年次に配置する</p> <p>4. 地域共生社会の実現に必要な個人、家族から地域社会までを徹底した国内外のソーシャルワークに関する理論と実践を統合的に理解するため、「専門科目」の中でも実践展開力を養成する科目を3・4年次に配置する</p> <p>5. 「総合部門」では、人々の抱える生活福祉課題を個人と社会との関係から捉える総合的な課題解決能力を養う科目を段階的に学べるよう編成する</p>	<p>総合部門：6科目 (現代福祉問題論/入門演習ほか) (詳細はシラバスに記載)</p>	<p>性・多様性を尊重することができる</p>
<p>4. 時代の変化と国際的な視点を踏まえ、新たな福祉・保健・医療の課題を把握し、学際的な多職種連携を図りながら、個人、家族及び社会のニーズに応えられる基礎的な技術を有する</p>	<p>2. 社会福祉と看護それぞれの専門性と福祉・保健・医療の課題を理解するため、看護学科との「共通関連科目」を1・2年次に配置する</p> <p>3. 社会福祉の基盤知識と、ソーシャルワークの価値や倫理の基礎を身につけるため、「専門科目」の中でも基礎的科目を初年次に配置する。そして、地域社会で直面する多様な生活のしづらさと、それに直面する人々の回復や成長及び自立を目指す支援のあり方等を理解するため、「専門科目」の中でも社会福祉諸領域に関する科目を1・2年次に配置する</p> <p>4. 地域共生社会の実現に必要な個人、家族から地域社会までを徹底した国内外のソーシャルワークに関する理論と実践を統合的に理解するため、「専門科目」の中でも実践展開力を養成する科目を3・4年次に配置する</p>	<p>共通関連科目： 保健と福祉の理解 6科目</p> <p>社会福祉学専門科目： 39科目 (共生社会論, 社会的起業論, 保健医療と福祉, 社会福祉管理運営論ほか) (詳細はシラバスに記載)</p>	<p>3. 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観・個性・多様性を尊重することができる</p> <p>4. 自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる</p>
<p>5. 社会福祉学を探究する姿勢と態度を身につけ、専門職を目指して社会福祉を深化、発展させていくための研究が行える基礎能力を有する</p>	<p>5. 「総合部門」では、人々の抱える生活福祉課題を個人と社会との関係から捉える総合的な課題解決能力を養う科目を段階的に学べるよう編成する</p>	<p>総合部門：6科目 (現代福祉問題論/入門演習ほか) (詳細はシラバスに記載)</p>	<p>2. 社会の動向や人間に関心をもち、多様な人々が豊かに生活できる社会の実現に貢献したいという目的意識をもっている。</p> <p>4. 自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる</p>